

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポートセンターあさひが丘		公表日		2026年2月18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		・実際に事業所で使用しているものを提示しながら、訪問支援に取り組んでいます。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・配置基準職員を満たし、事業所の運営を行っています。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・ご家族よりいただいたご意見は、職員間で共有し業務改善に努めます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・細かに職員の話聞く機会を設け、職員の意見等を把握するように努めています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・保護者の皆さまからご指摘を受けた際は、早急に対応し、改善を図っています。また、第三者委員会へ報告しています。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内部研修、外部研修への参加や外部講師を招き研修を実施するなど、資質向上に努めています。		
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・チーム職員間でお子さまの実態や課題について話し合い、課題面・ストレングスを明確にした上で、保育所等訪問支援計画書を作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者に加え、担任も交えて、個別支援計画作成会議を行っており、お子さまの実態把握に努めています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・事前に園の担当者とお子さまの様子について情報共有を行い、園での困り感等についても個別支援計画に記載しています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・新版K式発達検査などのフォーマルな検査に加え、日々の療育の様子、また関係機関の方からの情報収集によりアセスメントを行っています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・こども家庭庁のガイドラインを参考にし、支援計画を作成しています。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・保育所等訪問支援を実施する前に、ご家族の要望や学校・事業所でのお子さまの困り感等、どの部分を重点的に見学するかなど細かに打ち合わせを行ってから支援を実施しています。		
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ミーティング時に、当日のお子さまの様子や園の先生方の困り感などをチーム職員と共有し、こどもの実態把握に努めています。			
適切	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・一方的にこちら側の支援内容を先方に伝えるのではなく、訪問施設で実施可能な支援内容を助言することを心がけています。		

な 支 援 の 提 供	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・訪問支援実施後は必ず報告書を作成し、職員間で共有しています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年毎にモニタリングを行っており、個別支援計画を更新する際には、先方との連携会議の中でお子さまの情報共有を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担任やケース担当者を中心に、お子さまの支援に直接関わっている支援者が参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・希望を聴取した上で、移行支援シート（夢すこやかファイル）を作成し、関係機関に提供しています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・巡回している公認心理師や言語聴覚士等の専門職からのアドバイスを参考にしています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・ご家族に引き継ぎや保育所等訪問支援の報告を行う際は、お子さまの頑張っている点を中心に伝え、併せて課題面、支援内容等の共有を行うようにしています。	
保 護 者 等 へ の 説 明 等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		年に一度、ご家族向けのペアレントプログラムを実施しています。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に必要事項について、丁寧な説明を行っています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・保育所等訪問支援の目的や趣旨について、特に初めて訪問させていただく学校、保育園、幼稚園については、丁寧に説明するように心掛けています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントシートに基づき、意向を確認しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・保育所等訪問支援のサービス内容や目的等、丁寧に説明しています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			・年に一度、ご家族へ定期面談の希望を募るアンケートを実施しております。必要に応じて、複数回面談を実施することもあります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・年に一回、こどもの発達研修会、年に二回、きょうだい児を対象にきょうだい児支援会を実施し、交流する機会を設けています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・要望については、迅速に対応できるよう職員間で連携を図り情報共有を行っております。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月おたよりを発行し、翌月の活動内容等についてご案内をさせていただいております。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・職員室へは職員以外は立ち入りを禁止していること、また職員が不在の時は施錠の徹底をしています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・お子さまの様子や訪問先からの相談に対して、面談や電話連絡にて担当者や支援内容について共有を行っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			・ご家族へ説明を行った後に、今後も施設と連携を図りたい旨を伝えていきます。

訪問先施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	・ 面談や電話連絡にて、園でのこどもの様子や事業所で行っている支援内容を担任の先生方と共有していることを伝えていきます。また、ご家族が安心して保育所等訪問支援を依頼できるよう、今後も訪問先施設と連携していくこととお話させていただいています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・ 職員室へは職員以外は立ち入りを禁止していること、不在時は施錠の徹底をしています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	信頼関係が築けているところもあればそうでないところがあると考えています。療育の現場で実際に行っていることばかけや環境設定、身体援助等について、園や学校生活の中で取り組めそうなものを担任教諭と実態を踏まえながら一緒に考えていきたいと思えます。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・ 各種マニュアルについては、正面玄関入口にファイルに綴じ保管してありますので、ご確認ください。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・ 文書作成後は、法人全職員に周知し再発防止に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・ 毎年、虐待に関する研修を行っています。また、お子さまとの関わりの中で誤解を受けそうな支援が見られた際には、職員間でタイムリーに声を掛け合うことを意識しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		